

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

久御山町不登校児童生徒未然防止プラン事業

事業の経過・背景・課題

本町の不登校児童生徒は増加傾向で、その出現率を山城管内の学校の平均と比較しても高い状況となっている。また、本町の小・中学校で比較すると、令和3、4年度ともに、中学校は小学校の3倍以上である。

不登校の原因は、学習や友達関係、家庭での悩みごとなど様々であるが、学校ではそれらの不安を担任が中心となって見取りを行い、時には組織的に対応することが求められ、臨床心理士やSSWなどとも連携を密にしていく必要がある。さらに、保護者が抱える不安や問題などにも丁寧に対応することも不可欠となっている。

また、本町の児童生徒の特長として、見る力・聞く力・見えないものを想像する力などの認知能力に課題がみられ、特に不登校児童生徒は小学校段階から日常生活でも苦勞し、自信や意欲等の非認知能力の向上にも影響があることが考えられている。そのため、小学校段階から学びに向かうための基礎的な力の育成が求められる。

取組内容

交付実績額： 2,893 千円

- ・臨床心理士、SSWの活用
  - 児童生徒やその保護者の困りごと等について、丁寧に寄り添い早期に発見し早期に対応していく。
- ・「コグトレオンライン」（認知機能に着目した包括的支援プログラム）のデジタルコンテンツを導入
  - 記憶力・聞く力・見る力・集中力・想像力・読む力等の認知機能を高める。
- ・今後は、児童生徒の日々の心境の変化を早期に発見するため、これまで以上に丁寧に児童生徒の見取りを行えるように「スクールライフノート」の活用等の取組を検討する。

事業の成果・今後の展望等

- ・未然防止・課題解決を図るために、臨床心理士・SSWによる専門的な知識を活用することにより、児童生徒を取り巻く環境改善がみられるケースが増加した。
- ・記憶・注意・言語理解・知覚・推論・判断などの学習の土台とされる認知能力を効果的に向上させ、自信や意欲等の非認知能力の向上につながった。今後も継続的な取組により効果が図られると考える。

問い合わせ先

久御山町教育委員会学校教育課（075-631-9974）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 保育・教育アドバイザー設置事業

## 事業の経過・背景・課題

こども園・学校現場において、ベテラン保育士・教員の大量退職に伴い、経験年数の浅い教員等が急増したことにより、保育力・教育力の継承・向上が急務となっている。

各園・校におけるＯＪＴや京都府教育委員会が実施する教職員支援アドバイザー事業などを活用して事象の解決を図ってきたが、機会が限られており、恒常的な取組ができていない。

## 取組内容

交付実績額： 340 千円

町独自で、豊富な保育・教育経験や管理・監督者経験を有する人材を「保育・教育アドバイザー」として園・小・中学校に１人ずつ配置し、様々な保育・教育活動への指導、助言や相談対応を行い、保育士・教員の保育力・教師力等の向上（人材育成）や精神的な負担軽減を図る。

## 【配置期間】

小中学校：令和６年４～８月、９～１２月、令和７年１～３月の３スパン（学期）で活動

## 事業の成果・今後の展望等

- ・継続的な助言・指導を通して、保育・授業や幼児・児童・生徒等との関わり方の改善、教職員等間の支援が期待できる。保育・授業力や教職員等としての感性が培われることで、ひいては、幼児・児童・生徒等の学力向上につながる。
- ・経験豊富なアドバイザーが教職員等に直接指導をすることで、人材育成や課題解決に繋がっている。管理職に対しても園、学校運営や人材育成について管理職の責任ややりがいなどのアドバイスをいただくことで、俯瞰で見ることができ、園や学校力の向上につながっている。
- ・現在の園や学校現場では経験が少ない職員が増える中、スキルの向上や継承だけでなく、新たに挑戦することや学び続ける組織作りが求められる中、今年度は研究体制や学び向上できる風土の醸成に注力することができた。

## 問い合わせ先

久御山町教育委員会学校教育課（075-631-9974）